

理事長就任のご挨拶

理事長 玉置 伸哉

新緑の季節、皆様におかれましては健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

この度、令和5年5月1日付をもちまして小樽前理事長の後任として、川崎汽船健康保険組合理事長に就任致しました。

さて、我が国の健康保険制度を取り巻く環境として特筆すべきは、少子高齢化の進展に伴い高齢者医療制度への支援金額（前期高齢者納付金・後期高齢者支援金）が増え続けてきており、これが被用者保険（当健保組合を含めた一般的な会社員・公務員が加入する健康保険）の財政を圧迫している状況です。更に、所謂団塊世代が満75才を迎える2025年に向け、この傾向は続いて行くものと想定されております。

当健保組合においても例外に漏れず、被保険者の皆様及び事業主より拠出される保険料収入のうち、過半数を超える約55%（令和3年度実績）が高齢者医療保険制度への支援金に使われており、保険給付（本人負担以外の医療費給付）を上回っております。また、更なる増加が当健保組合の健全な事業運営に支障をきたしかねないこと懸念されます。

この様な状況の下、政府は高齢者医療保険制度の見直しを検討しておりますが、一方で、当健保組合が将来にわたり健全に保険給付を実施して行く為には、組合員皆様（被保険者及び被扶養者）の健康維持・増進が最重要課題であり、これは皆様にとって普遍的目標であります「幸福な人生」を送る為の不可欠な条件と一致しているところであります。

当健保組合は、こうした普遍的目標実現の為にも、保険給付による疾病からの早期治癒に加えて、疾病予防に重点を置いた各種保険事業に取り組んで行く所存です。

組合員の皆様には、当健保組合の事業運営に対しましてご理解とご協力を引き続きお願い申し上げます。

令和5年5月吉日